

しんにちは つるおか

No. 102

— 過不足なく関わることは、見守ること

ほんじょう しんのすけ
本城 慎之介 さん

「森のようちえんぴっぴ」（長野県軽井沢町）保育者。慶應義塾大学大学院在学中に三木谷浩史氏と出会い、楽天株式会社の創業に携わる。1999年同社取締役副社長に就任。2005年に退社した後は、横浜市立東山田中学校長を務めるなど、教育を軸に活動。2009年にぴっぴの保育者となる。つるおか森の保育フォーラムの講師として来鶴。北海道出身。



会社経営者の役割はたくさんありますが、人を育てることが、大きな役割だと思います。社会に置き換えていえば、それは「教育」です。様々な価値観があり難しい仕事ですが、社会の重要な部分だと思い、会社を離れて教育に携わることを決めました。

私は全寮制の中高一貫校を設立しようと、軽井沢に生活拠点を移したのですが、自分の子供が通う幼稚園の候補としてぴっぴを見学したとき、衝撃を受けました。たき火を囲みながらの昼食の時間、2歳児の男の子がぬれた手袋を石に置いて乾かそうとしました。どう見ても火に近過ぎるのに、スタッフは何も言いません。案の定、手袋は焦げ、男の子は泣いてしまった。私がスタッフに「やっぱり焦げましたね」と言うと、「そうですね。でも先週は燃やしちゃったんです」と言われました。スタッフは男の子を見守り、2回の失敗をさせて、火の距離感をつかませていた。幼児期に安心し

て何度も失敗できる環境の大切さに気付かされました。これがぴっぴの保育者になったきっかけです。

私が常に意識しているのは、過不足なく関わることです。「大人の手が本当に必要な場面か」。1日に何百回と自分に問い掛けます。例えば、けんかして泣いている子に、友達が何か言おうとしている。もし大人が「どうしたの?」と言え、子供同士の関わり合いはストップしてしまうし、子供の得られるものが、大人の手柄になってしまうこともある。見過ごすのでも、見過ぎるのでもない。過不足なく関わることは、見守ることに近いと思います。

ぴっぴには園舎も特別なプログラムもありません。子供たちは森で過ごし、遊びを通して心を育みます。私は、森や海等へ行くのに目的や準備は余り必要ないと思っています。自然は、身を置くだけで学べるものがある場所です。自然の中にただ身を置くことは、大人にもお勧めしたいですね。四季の変化は鮮明に心に残りますし、刺激を受けられると思います。



フォーラムの様子（1月25日／第三学区コミュニティセンター）

寺の林に住み
サギが住宅地
にある神社・
しかし近年、
繁殖すること
はありません。



高い木の上に集まるサギ

A 営巣・産卵する前に追
い払いましょう

サギは鶴に比べてやや小さい鳥です。河原などの水辺で餌を探す姿を1年中見ることが出来ます。3〜6月に、数十〜数百羽の集団で、10m程度の木（杉、赤松など）の高い位置に営巣します。通常、住宅地で繁殖することはありません。

えてください。被害を防止するための対策を教えてください。

Q 住宅地でのサギの集団
営巣について

たくさんサギが住宅地にある神社の林に現れるようになりまし。そのまま住み付いて、ふんの悪臭や鳴き声による騒音などが発生しないか心配です。

声

voice

市への意見や質問、広報を読んでの感想などをお寄せください。

◎送り先 本所総務課

☎25-2111内線316

スクールライフ!

鶴岡市にある10校の高等学校と高等専門学校。
その学校ならではの取り組みや活動を生徒・学生が紹介します。

No. 6 歌とおはなしの会／鶴岡南高校山添校

〔学校概要〕

○創立…昭和24年（平成26年4月に山添高校から鶴岡南高校山添校となる） ○学科…普通科 ○基礎・基本を学ぶ「ベーシック」や実社会で役立つ学習を実践。また、黒川能に関する学習やボランティアを行うなど、地域との関わりを大切にしている



○朝の読書や読み聞かせ活動、タブレット端末を活用した授業での図書館利用など、特色ある読書活動が評価され、平成26年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰を受ける

紹介者

図書委員
木村 紗奈さん
(3年生)



音楽部長
小野寺 彩花さん
(2年生)



図書委員と音楽部が行っている「歌とおはなしの会」は、平成18年に始めた活動です。主に櫛引地域の小学校や学童保育所を訪れ、歌と踊り、本の読み聞かせをしています。鶴岡南高校の分校となった今年度は、本校の生徒と合同の会も開催しました。

図書委員による本の読み聞かせでは、大型絵本や仕掛け絵本などの子供が楽しめる本、季節に合った本を選びます。そして、役に合わせて声色を変え、読み方にも一工夫。そうすると、子供たちは「変な

のー」「面白いね」と言って楽しんでくれます。また、私たちが製作した、櫛引の民話の紙芝居を披露すると、「このお話知ってるよ」と言う子もいて、私たちがびっくりしてしまうこともあります。

音楽部による歌と踊りでは、子供の好きなアニメや映画の曲を選びます。私たちが披露すると、子供たちは歌いたくて、踊りたくてうずうず。体を使って一緒に盛り上がります。楽しそうな姿を見ると、「やってよかったな」と毎回思います。

いつも私たちは子供たちの笑顔から元気もらっています。もっと笑顔にしたい、喜んでもらいたいと思いますし、これからも続けていきたい活動ですね。また、本校と合同の会を多く開催して、本校の生徒と交流を重ねながら、より面白い企画をできればいいなと思います。



自作の紙芝居



付く事例が見られ、ふん害や悪臭夜間の鳴き声による騒音が問題となっています。

■被害を防止するためには

サギが営巣・産卵する前に林から追い払う必要があります。夏の巣立ちまで住み続ける習性があるため、産卵後に追い払いをしても効果がありません。

■追い払いの方法は

本市では、土地の所有者や地域住民と連携し、サギ被害対策実証試験を実施してきました。その結果、ロケット花火の打ち上げ、テグス張り、目玉風船の設置等が追い払いの方法として有効であることを確認しています。詳しくは、本所環境課 6 内線 7 20 へお問い合わせください。



目玉風船の設置

■集団で飛来したときは

サギには営巣の前に何度か下見をする習性があります。住宅地にある林に集団で飛来する姿を見掛けたら、同課へ連絡し早目の対策を取りましょう。

〈本所環境課〉